

品目名 かぼちゃ（マロン南瓜）

品種と作型	月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	摘 要
	作型										
露地栽培			○	×			■				<ul style="list-style-type: none"> ・品種 くりあじ南瓜 ・栽植密度 畝幅 4～5 m 株間 1本仕立て 35cm 2本仕立て 70cm ・栽培のポイント ①うどんこ病・ペト病・疫病の予防除 ②日焼果の対策

主要管理	栽培の要点	留意事項															
畑の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・排水の良いほ場を選ぶ。 ・定植1ヶ月前までに完熟堆肥と石灰資材を施用し深耕をする。 ・定植10日前までに化成肥料を施用し、耕起・畝たて・マルチを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水はけの悪いほ場は高うね・排水対策を行う。 ・施肥例 (kg/a) 															
育苗	<ul style="list-style-type: none"> ・種子を1日水に浸しては種を行う。 ・育苗箱には種し、1cm程度覆土を行う。 ・発芽適温は26～28℃で定植に向け徐々に温度(15℃)を下げ外気にならしていく。 ・子葉展開時に9cmポリポットへ移植する。 ・本葉が触れ合うようになったら、ずらしを行う。 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">資材名</th> <th style="text-align: center;">基肥</th> <th style="text-align: center;">追肥</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>苦土石灰</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野菜有機189号</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>野菜有機129号</td> <td></td> <td style="text-align: center;">3×2回</td> </tr> </tbody> </table>	資材名	基肥	追肥	堆肥	200		苦土石灰	20		野菜有機189号	8		野菜有機129号		3×2回
資材名	基肥	追肥															
堆肥	200																
苦土石灰	20																
野菜有機189号	8																
野菜有機129号		3×2回															
定植	<ul style="list-style-type: none"> ・植付け前日に直径10cm程度の植穴をマルチにあけかん水しておく。 ・本葉3～4枚の苗を深植えにならない植付けを行う。 ・遅霜の恐れのある場合はキャップで覆う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病害虫防除 ウリハムシ モスピラン水溶剤 アブラムシ スミチオン乳剤 うどんこ病 ダコニール1000 トリフミン水和剤 疫病 アリエッティ水和剤 リドミル銅水和剤 ペト病 ストロビーフロアブル 															
整枝	<ul style="list-style-type: none"> ・2本仕立ての場合親づるは本葉4枚で摘心する。 ・よくそろった子づるを2本同じ方向に伸ばす。 ・脇芽は2番果の着果まで早めに取り除き過繁茂にしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の高い大玉づくりを目的に土づくり(堆肥の施用)を行う。 															
追肥	<ul style="list-style-type: none"> ・追肥1回目は1番果がソフトボール大になる頃にマルチの外側へ施す。 ・追肥2回目は2番果が着果した頃につる先へ施す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イノシシ等鳥獣害に注意する。 															
マット敷き	<ul style="list-style-type: none"> ・果実がソフトボールより大きくなった頃に、やさしく果実の下にマットを敷く。 																
日焼果対策	<ul style="list-style-type: none"> ・果実が直射日光に当たり変色するのを防ぐため、新聞紙等で果実を隠す。 																
病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> ・害虫はウリハムシ・アブラムシ・病害はうどんこ病・ペト病・疫病に注意する。 																
収穫	<ul style="list-style-type: none"> ・着果後50日を目安に、果梗全体がコルク化し、たてにひびが入る頃。 ・果梗を短く切り、1週間程度風通しの良い日陰で追熟させる。 																